

第8期介護保険事業計画「取組と目標」に対する自己評価シート

市町村名

※「介護保険事業(支援)計画の進捗管理の手引き(平成30年7月30日厚生労働省老健局介護保険計画課)」の自己評価シートをもとに作成

第8期介護保険事業計画に記載の内容				R3年度(年度末実績)		
区分	現状と課題	第8期における具体的な取組	目標 (事業内容、指標等)	実施内容	自己評価	課題と対応策
①自立支援・介護予防・重度化防止	平均自立期間が短く、また、家族形態からも在宅生活が続いていかない。	住み慣れた家で長く生活を長く続けるために、定期的に介護教室を開催します。	参加者平均25人	計4回開催。平均参加者数24人。	◎	参加者が固定化され、新規の参加者の獲得に至らない。周知方法の変更を試みたが、目立った効果はない。
①自立支援・介護予防・重度化防止	事業者への聞き取りから、介護保険外のサービスを提供していることがあり、必要なサービスや地域課題をより明らかにする必要がある。	高齢者が安心して生活を続けることができるまちづくりのために、関係者の情報共有と連携強化を図ります。	年6回以上開催	地域ケア会議を5回開催。コロナウイルスの影響で中止もあり。	◎	情報交換や連携は概ねできていると考えるが、地域課題の解決等には至っていない。
①自立支援・介護予防・重度化防止	高齢化が進み、医療と介護両面からの支援が必要な方が増えている。	医療と介護の両方から支援が必要な高齢者に対して、関係者が一体となった支援ができるよう研修等の研鑽の場を確保します。	年1回以上開催	コロナウイルスの影響で合同研修会は未開催。	×	地域ケア会議をとおして、情報交換はできたが、合同の研修開催には至らず。合同開催に向けた前向きな議論にも発展していない。
①自立支援・介護予防・重度化防止	健幸寿命の延伸や、要介護状態になることを防ぐため、正しい介護予防方法を習得し、自発的に取り組む必要がある。	介護予防に関する基本的な知識の普及啓発を図ることで、介護予防に向けた取り組みが自主的に行えるよう支援します。	参加者延数1,210人	元気はつらつ教室 429人 介護予防出前講座 88人 計517人	△	コロナウイルスの影響で、開催回数、参加者数ともに減少している。感染予防策は講じているが、影響は大きい。

第8期介護保険事業計画「取組と目標」に対する自己評価シート

市町村名 空知中部広域連合

※「介護保険事業(支援)計画の進捗管理の手引き(平成30年7月30日厚生労働省老健局介護保険計画課)」の自己評価シートをもとに作成

第8期介護保険事業計画に記載の内容				R3年度(年度末実績)		
区分	現状と課題	第8期における具体的な取組	目標 (事業内容、指標等)	実施内容	自己評価	課題と対応策
②給付適正化	介護給付を必要とする受給者を適切に認定し、受給者が真に必要なサービスを提供できるようにするため、北海道では「第5期介護給付適正化計画」を策定し、保険者と一体となって取り組む方針としており、当連合としても重点事項として位置付けられている5項目について実施していく。	認定調査状況の適正化	調査票全件点検の実施	調査票全件である1,343件の点検を実施し、テキストに基づき、不整合がないか確認し、整合性のある認定調査となるよう認定調査員への指導を行った。	◎	調査事項と特記事項の整合性が図られていない調査票が見受けられることから、今後も認定調査の平準化をはかるため、調査員に対する指導を継続していく。
②給付適正化		ケアプランの点検	隔年訪問実施	5事業所計15件について、自立支援に資する適切なケアプランであるか等に着目し、ケアプラン点検を行った。	◎	利用者の自立支援に資する適切なプランであるか等に着目し実施しており、今後も継続していく。
②給付適正化		住宅改修及び福祉用具購入の点検	申請書類の全件点検、必要に応じた現地確認の実施	住宅改修及び福祉用具購入の申請時に全件点検を行い、住宅改修については事後訪問調査を行った。	◎	不適切な改修の申請の場合は、申請者やケアマネージャーに制度を説明し理解を図っており、今後も継続していく。
②給付適正化		医療情報との突合及び縦覧点検	毎月点検実施	国保連合会に委託し、帳票をもとに点検実施した。	◎	国保連合会への委託と国保連合会帳票を使用した点検を実施しており、今後も継続していく。
②給付適正化		介護給付費通知	年1回以上の通知の実施	年1回(8月)に全件通知を行った。	◎	計画通り実施しており、今後も継続していく。